

上尾中央総合病院版 睡眠剤フォーミュラリー

第1選択：デエビゴ錠

中等度の肝機能障害患者では1回5mgまで。高度肝機能障害患者には禁忌。
CYP3Aを中等度又は強力に阻害する薬剤と併用する場合は、1回2.5mgまで

第2選択：ベルソムラ錠

CYP3Aを強く阻害する薬剤（イトラコナゾール、ボリコナゾール等）との併用は禁忌

第3選択：ベルソムラ錠＋ロゼレム錠

ロゼレム錠は、高度肝機能障害患者またはフルボキサミン錠を投与中の患者には禁忌

第4選択：エスゾピクロン錠（依存性・反跳性不眠に注意）

重症筋無力症、急性閉塞隅角緑内障の患者では禁忌。
65歳以上では上限2mg。長期的な使用は避ける。

要約シート

薬価:2022年2月時点

一般名 (商品名)	規格	薬価	エビデンス要約
ブロチゾラム (レンドルミン)	0.25mg	10.10 円	<p>《有効性》</p> <ul style="list-style-type: none">●睡眠潜時・スボレキサントは、65歳以上の高齢者に対して1回15mgではプラセボと比較し、有効性が示されなかった。・ラメルテオンでは、20~85歳の慢性不眠症に対して、プラセボと比較し有効性が示されている (P=0.0279) が、コンプライアンスが有効性に大きく寄与する可能性が考えられる。・ブロチゾラムについては今回の検索では有効性のデータが検索できなかった。・ゾルピデムについては65歳以上の高齢者に対する有効性のデータが乏しい結果となった。・それ以外の薬剤はプラセボと比較し、有効性が示されていた。●中途覚醒・ラメルテオンは有効性が示されていなかった。・エスゾピクロンは1mgでは有効性が示されていないが、増量することで有効性が示された。●睡眠効率・レンボレキサント、ゾルピデム、エスゾピクロンにて有効性が示されている試験が検索出来た。 <p>《安全性》</p> <ul style="list-style-type: none">●頭痛、傾眠、上気道感染症、悪夢・薬剤間で有意な違いは示されなかった。●転倒転落・ゾルピデムにて転倒による頭部受傷と股関節骨折のリスク増加が示された。一方で、エスゾピクロンは、リスク増加が示されなかった。
ゾルピデム (マイスリー)	10mg	12.80 円	
エスゾピクロン (ルネスタ)	1mg、 2mg、 3mg	1mg : 17.0 円 2mg : 27.0 円 3mg : 35.4 円	
ラメルテオン (ロゼレム)	8mg	86.2 円	
スボレキサント (ベルソムラ)	15mg、 20mg	15mg : 90.8 円 20mg : 109.9 円	
レンボレキサント (デエビゴ)	2.5mg、 5mg、 10mg	2.5mg : 57.3 円 5mg : 90.8 円 10mg : 136.2 円	